

# 宮崎大学医学部附属病院 消化器外科 専門医養成プログラム【第2外科】

## 1. プログラムの概略・特徴

消化器外科は、第2外科の3つの診療グループの一つであり、消化器外科、一般外科領域における、人間味ある外科医を育成し、医療を向上させていくこと、またその一環として消化器外科専門医の資格を得ることを目標としている。

## 2. 研修目標

### 【一般目標】

日本外科学会による外科専門医取得のための修練カリキュラムに沿って研修を受け、この間、消化器外科専門医取得のための資格要件も満たすため、消化器外科の必要手術症例数の経験と、所定の業績・研修実績をクリアするための学会発表、論文作成、教育集会参加も行う。

### 【行動目標】

- 入局後1～2年：①腹部超音波検査、上部・下部消化管造影検査・内視鏡検査ができる。  
②成人、小児の単径ヘルニアの根治手術ができる。  
③虫垂切除術ができる。  
④肛門疾患で膿瘍切開術、痔核手術、痔瘻手術ができる。  
⑤イレウス解除術、胃瘻造設術、腸瘻造設術、人工肛門造設術、消化管吻合術、腸切除術ができる。  
⑥胃・大腸切除術、郭清の助手ができる。
- 入局後3～4年：①胃・大腸切除術、郭清ができる。  
②胃疾患、大腸疾患の鏡視下手術の助手ができる。
- 入局後5～6年：①胃疾患、大腸疾患の鏡視下手術ができる。
- 入局後7年～：①臍頭十二指腸切除ができる。  
②肝切除術ができる。  
③胆道再建ができる。 など

## 3. 研修スケジュール

### 卒後臨床研修修了後の最短コース

- 1～3年目 第2外科入局後、大学病院および関連施設にて消化器外科を修練。  
4年目 日本外科学会専門医を取得。  
6年目～ 日本消化器外科学会専門医を取得。

基本的には入局後4年間までは第2外科にて消化器外科とともに心臓血管外科、呼吸器・胸部外科、内分泌外科にて研修を積み総合外科医としての技術を習得する。後に消化器外科専門医となった際の技術に反映できるようプログラムされる。

日本消化器外科学会専門医取得後は消化器外科医として、大学病院を含めた関連施設にてさらなる消化器外科技術の向上を目指す。一方、学会・論文発表も積極的に行えるよう指導され、専門性をさらに追求するためには国内留学を行うことや指定施設でより多くの症例を経験することも可能である。また消化器外科学会指導医さらには消化器関連学会の専門医取得も同時に行っていく。

#### 4. 評価

日本消化器外科学会消化器外科専門医の取得

#### 5. 募集人員

1～2名

#### 6. 実施責任者

宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野 教授 中村 都英

#### 7. 指導責任者

宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野 助教 河野 文彰

#### 8. 関連施設、学会認定状況

指定施設：宮崎大学医学部附属病院、佐世保市立総合病院、同心会古賀総合病院など。

関連施設：宮崎県立日南病院、済生会日向病院、千代田病院など。

#### 9. その他

消化器外科では消化器外科専門医だけでなく下記の専門医取得も可能である。

内視鏡外科専門医

消化器病専門医

消化器内視鏡専門医など

専門医取得において当科だけではなく、関連機関（指定施設・関連施設）に出向し修練を積むこともできる。当科においては心臓血管外科や胸部外科領域を修練することも可能であるため拡大手術症例（血行再建術、気管再建術を含む消化器手術など）を経験することも可能である。

#### 10. 連絡先

宮崎大学医学部外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野

富田 雅樹

TEL : 0985-85-2291

FAX : 0985-85-5563

E-mail : mtomita@med.miyazaki-u.ac.jp